

ヒグマの生態

生息している場所

ヒグマは北海道内の森林に生息しています。札幌市内では、山間部はもちろん、市街地に近い藻岩山や手稲山に出没することもあります。

ヒグマの一生

メスは冬眠期間中に2~3頭出産し、子グマは1歳半~2歳半で母グマから独立します。5~7月ごろ、繁殖期となり、オスはメスを求めて移動します。オスは単独行動をします。

ヒグマのからだ

体重
オス150~400kg
メス100~200kg
※産まれてすぐは400gくらい

体長
オス 約2.0m
メス 約1.5m

嗅覚・聴覚
嗅覚と聴覚が発達しています

前足
5本指で長いツメを持っています。ツメは食べ物を探するために穴を掘ったり、石を動かしたりと、日常生活のあらゆることに役立ちます

ヒグマの食べ物

ヒグマは雑食性です。大きな体を維持するために、春から秋にかけて、その時に最も手に入りやすい食べ物を大量に食べます。

フキ 春はフキやセリ科などの植物を食べます	オオハナウド 夏もセリ科などの植物のほかアリなども食べます	サルナシ(上)、オニグルミ(下) 秋はクルミやドングリをたくさん食べます
--------------------------	----------------------------------	---

ヒグマの痕跡

ヒグマのフン

ヒグマは食べ物を上手に消化できません。そのため、ヒグマのフンは食べた物が、ほとんどそのまま臭いと形で出てくるのが特徴です。

- オニグルミを食べた時のフン
- サルナシを食べた時のフン
- アリを食べた時のフン
- 草本類を食べた時のフン

足跡の見分け方

ヒグマの足跡には5本の指が付きます。多くの場合、前足の足跡には爪の跡も残ります。前足の幅の大きさによって、おとなのオス、あるいは子グマかどうかを区別することができます。札幌近郊では8cm(子グマ)~19cm(オス)が確認されています。

右前足の足跡

左後足の足跡

ヒグマが歩いた跡

この幅を測ります

Brown Bears in your neighbors:
Do you know about them?

ヒグマのこと

知っていますか?

札幌市内の山や森にもヒグマが生息しています。ヒグマはときに危険な存在となりますがヒグマのことをよく知ることができます。事故を防ぐことができます。

SAPPORO

自動撮影装置で記録されたヒグマ写真
撮影地区: 豊滝市民の森 / 撮影日時: 2010年9月24日 14時27分

ヒグマとの事故を避けるために

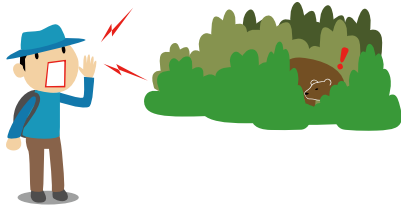
ヒグマと出遭わないようにすること!

野山に入るときは、事前にホームページや現地の看板などで出没情報を確認しましょう。ヒグマの生態や食性を知り、出没する時期、時間、場所を避けましょう。

野山や林に入るときは、音を出しながら歩きましょう。

入山するときは、クマ撃退スプレーや鈴、ホイッスルなどを携帯しましょう。

ヒグマのフンや足跡などを見つけたら引き返しましょう。



ワンポイント

多くのヒグマは、人を避けて行動しています。音を出すことでヒグマが人の存在を知り、多くの場合はヒグマが先に去っていきます。

ヒグマを人里に引き寄せないために...

食べ物のごみは、野山に捨てたり埋めたりしないで持ち帰りましょう。

生ごみを野外に放置したり、夜間にごみステーションへ、ごみを出したりしないようにしましょう。ヒグマが、生ごみや農作物などの味を一度覚えると、それを目的に繰り返し出没するようになります。



ヒグマが噛んだ缶

もしヒグマに出遭ってしまったら...



大声を出したり、走って逃げたり、石を投げたりは、絶対にしてはいけません。



落ち着きましょう。多くの場合は、ヒグマが先に立ち去ります。



ヒグマの移動する方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。



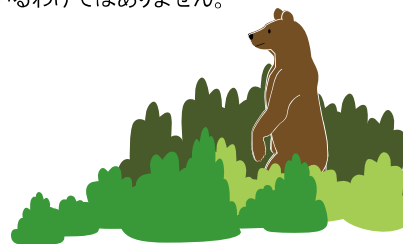
背中を向けて走ってはいけません。本能的にヒグマが追いかけてきます。



子グマを見つけたら、近くに母グマがいるので、近づかずに、立ち去りましょう。

ワンポイント

ヒグマが立ち上がるのは、多くの場合、周囲のようすをうかがうための行動です。威嚇しているわけではありません。



市民の皆さまへのお願い

ヒグマの出没情報は

札幌市のホームページで確認しましょう。または、最寄りの区役所までおたずねください。

問い合わせ先

〈札幌市〉

ホームページ... <http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/>

〈区役所〉

中央区役所	011-231-2400
北区役所	011-757-2400
東区役所	011-741-2400
白石区役所	011-861-2400
厚別区役所	011-895-2400
豊平区役所	011-822-2400
清田区役所	011-889-2400
南区役所	011-582-2400
西区役所	011-641-2400
手稲区役所	011-681-2400



ヒグマを目撃したり 足跡やフンを発見した場合は

110番へ通報してください。

ヒグマのことをもっと知りたい方は

札幌市のホームページでは、ヒグマの生態や行動習性などについても説明しています。また、過去の調査報告書なども読むことができます。ぜひご覧ください。

発行:

札幌市環境局環境都市推進部環境共生担当課

札幌市中央区北1条西2丁目

電話番号:011-211-2879

FAX番号:011-218-5108



さっぽろ市
02-G03-15-2212
27-2-1278

「ヒグマのこと知ってますか？」リーフレットについて

このリーフレットは、両面印刷してご利用することができます。
折り方については、以下の説明をご参照ください。

【形式】

210mm×99mm サイズ仕上がり 6 ページ外三つ折り（Z字型）

※広げるとA4サイズ（210mm×297mm）になる折りリーフレットです。

【折り方】

【展開図】

99mm
99mm
99mm

ヒグマの生態

生息している場所
ヒグマは北海道内の森林に生息しています。札幌市内では、山原帯はもろもろ、市街地に近い藻岩山や手稲山に出没することもあります。

ヒグマの一生
メスは冬眠期間中に2〜3頭出産し、子グマは1歳半〜2歳半で母グマから独立します。5〜7月ごろ、繁殖期となり、オスはメスを求めて移動します。オスは単独行動をします。

ヒグマのからだ

体長
オス 150〜200cm
メス 100〜150cm

体重
オス 200kg
メス 100kg

歩行・嗅覚
嗅覚と聴覚が鋭敏しています。

前足
前足は長い爪を持っており、土はほぐすことができます。また、前足は鋭い爪を持っており、土を掘ることができます。前足は長い爪を持っており、土を掘ることができます。

ヒグマの食べ物
ヒグマは雑食性です。大きな体を維持するために、春から秋にかけて、その場に最も手に入りやすい食べ物を大量に食べます。

ヒグマの痕跡

ヒグマのフン
ヒグマは食べ物を上手に消化できません。そのため、ヒグマのフンは食べた物が、ほとんどそのまま美しい形で出てくるのが特徴です。

足跡の見分け方
ヒグマの足跡には爪の跡が残ります。多くの場合、前足の足跡には爪の跡も残ります。前足の幅の大きさによって、おとなのオス、あるいは子グマかどうかを区別することができます。札幌近郊では8cm(子グマ)〜19cm(オス)が確認されています。

**Brown Bears in your neighbors:
Do you know about them?**

ヒグマのこと知ってますか？

札幌市内の山や森にもヒグマが生息しています。ヒグマはときに危険な存在となりますが、ヒグマのことをよく知ることによって、事故を防ぐことができます。

SAPPORO

谷折り
山折り

(裏表紙の裏)
表紙

(表紙の裏)
裏表紙

ヒグマとの事故を避けるために

ヒグマと出遭わないようにすること!

野山に入るときは、事前にホームページや現地の手帳などで出没情報を確認しましょう。ヒグマの生態や食性を知り、出没する時期、時間、場所を避けましょう。

野山内に入る場合は、音を出しながら歩きましょう。

入山するときは、クマ避けスプレーや鈴、ホイッスルなどを携帯しましょう。

ヒグマのフンや足跡などを発見したら報告しましょう。

ワンポイント
多くのヒグマは、人を避けて行動しています。音を出さず、目撃した場合はヒグマが先に去っていきます。

ヒグマを人里に引き寄せないために

果物類のゴミは、野山に捨てたり、ゴミ袋に入れて持ち帰りましょう。

ゴミを野原に放置したり、車道にごみステーションへ、ごみ出しをしないようにしましょう。ヒグマが、ゴミを食べて健康被害を受けたり、事故の原因にもなります。

もしヒグマに出遭ってしまったら...

大声を出したり、走って逃げたり、石を投げたりは、絶対にしてはいけません。

落ち着きましょう。多くの場合は、ヒグマが先に立ち去ります。

ヒグマの移動する方向を見定めながら、静かに立ち去りましょう。

背中を向けて走ってはいけません。本能的にヒグマが追いかけてきます。

子グマを見つけたら、近くに母グマがいるので、近づくこと、立ち去りましょう。

ワンポイント
ヒグマが立ち上がるのは、多くの場合、周囲のようすをうかがうための行動です。威嚇しているわけではありません。

市民の皆さまへお願い

ヒグマの出没情報は
札幌市のホームページで確認しましょう。または、最寄りの区役所までおたずねください。

問い合わせ先

<札幌市>	011-231-2400
ホームページ	http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/
<区役所>	
中央区役所	011-741-2400
北区役所	011-747-2400
南区役所	011-822-2400
厚別区役所	011-896-2400
豊平区役所	011-899-2400
清田区役所	011-889-2400
南区役所	011-592-2400
西区役所	011-641-2400
手稲区役所	011-661-2400

ヒグマを目撃したり足跡やフンを発見した場合は
110番へ通報してください。

ヒグマのことをもっと知りたい方は
札幌市のホームページでは、ヒグマの生態や行動習性などについても説明しています。また、過去の調査報告書なども読むことができます。ぜひご覧ください。

発行:
札幌市環境地理都市推進部環境共生担当課
札幌市中央区北条町2丁目
電話番号:011-211-2878
FAX番号:011-219-5706